

不二速報

発行日 2019年3月11日

第6号 人事院勧告完全実施報告号【全教職員配布号】



静岡大学教職員組合

静岡：内線 2790

suu@jade.dti.ne.jp

浜松：内線 3910

suu-seibu@vcs.wbs.ne.jp

組合HP：

<http://shizudai-union.net/>

人事院勧告完全実施決定!! 組合の団体交渉の成果です!



給与改定 平均0.2%の引上げ

(2018年4月1日に遡り適用されます)

勤勉手当 0.05 月分の引上げ

(2018年12月1日から適用されます)

組合では、12月11日に第2回団体交渉を行い、人事院勧告の完全実施を要求してきました。

2月12日に大学から、就業規則改正について、以下のとおり説明を受けました。

就業規則は2019年3月1日施行、給与改定は2018年4月1日に遡り適用、期末・勤勉手当改定は2018年12月1日に適用されます。

就業規則改正の概要は以下のとおりです。

国立大学法人静岡大学教職員給与規程等の改正について

(1) 国立大学法人静岡大学教職員給与規程

国立大学有期雇用教職員給与規程

基本給表の改定：平均改定率 0.2%引上げ

- ・大学教員 教育職基本給表 (一)
- ・事務・技術職員 一般職基本給表 (一)
- ・附属学校教員、栄養士、看護師・保険氏 その他基本給表

(2) 大学院調整手当及び特別支援学校教員調整手当支給細則

- ・調整基本額の一部引上げ (基本給表の改定に基づくもの)

(3) 特別資格調整手当支給細則

- ・支給額の引上げ

施行日 (適用日) 平成31年3月1日 (平成30年4月1日)



教職員の期末手当及び勤勉手当の改定について

- ・勤勉手当の支給月数を 0.05 月分引上げ

- ・平成31年度以降の期末手当・勤勉手当における6月期及び12月期に係る支給月数の平準化

施行日 (適用日) 平成31年3月1日 (平成30年12月1日)

組合スキーと温泉の集い ご報告

妙高杉ノ原スキー場 2019.1.12~1.14

1月12日~14日、昨年と同じく妙高杉ノ原スキー場に、総勢17人で行ってきました。妙高杉ノ原スキー場は、広くて長いゲレンデが特徴の初級者でも楽しめるスキー場です。

滞在中大きな天気の崩れはなく、晴と小雪の間を行ったり来たりとスキー場なら上々の部類。向こうには野尻湖や斑尾山が見えます。人も3連休にしてはさほどではなく(中日の朝のゴンドラだけは混雑でした)、参加の皆さん、思い思いの滑走を楽しまれたと思います。宿の田端屋も美味しい食事がありがたかったです。

何の事件もなく、楽しいスキーと温泉の集いでした。いただいた感想を紹介します。来季は1月11日~13日を予定しています。

4時間余のバス乗りでスキー場に来られ、杉ノ原スキー場では、ゲレンデコンディションも、お天気にも恵まれて、楽しい3日間でした。

田端屋さんでは、おなか一杯になる食事と、ゆっくり眠ることができた部屋と、満足です。会費も二泊三日にしては安いと思います。ありがたかったです。そしていろいろお話ができ、よい交流の場になりました。楽しかったしちょっと疲れました。



天候にも恵まれ、本年も楽しいスキーができました。ありがとうございました。

昨年と同じスキー場なので、大変滑りやすかったです。他のスキー場と違い、コブなどもなく、安心して活動できました。

来年参加者を増やす努力をしなければ実現できないという話を伺い不安です。この楽しいスキーツアーがなくならないようみんなで参加者を増やせるといいです。



「ツアーに参加して」

久しぶりのスキーツアーに参加できて、とてもうれしく思っています。定年を過ぎ、早くも7年がたち、体力がかなり落ちてしまい、若つもりが体がついていけなくなっているようです。また声をかけてください。



組合のスキーツアー、12月末に開催されているときに長男と2度参加させていただきました。その後、別のスキーと日程的に重なりしばらく参加できない時期が続いておりました。たまたま、今年は別のスキーの日程がずれたこと、吉村さんから最後になるかも聞いたこともあり、参加することにしました。

スキーは毎年1回はいつているのですが、制約なく自由に滑れるスキーは久しぶりでした。普段の短いコースではなく、長いコースをのんびりと滑ることができ、楽しいひとときを過ごすことができました。参加者の中では若手でしたが、他の方のスピードについて行けませんでした…。

ご計画いただいた根本先生、吉村様に感謝します。同時に、来年以降もなんとか継続してもらえればと願います(参加できるかわかりませんが)。



ほぼ天气に恵まれ最高でした。
来年も有志ある参加者にノルマを期待し、ぜひとも実行していただければと願います。



去年と同じ妙高杉ノ原スキー場に来ました。
天気にもめぐまれて、3日間楽しく滑れ、宿ではおいしい食事をいただきました。
人数が少し少なかったけど、楽しい会話あり、帰り際吉村さんのマジックが見れてよかったです。



来年もぜひお願いいたします。

浜松キャンパス
年末恒例!

平和と文化の集い 「おでんと焼き鳥 de トーク」

トークテーマ「大学の統合問題」

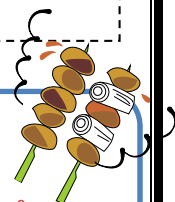
「平和と文化の集い」総記

「平和と文化の集い～おでんと焼き鳥 de トーク」が今年度も2018年12月21日(金)に、浜松キャンパスの佐鳴会館ホールで開催されました。年内授業最終日、ビジネスデーで最後の金曜日という“忘年会日和”の中、28名の参加者が集まり、例年通り、いや例年よりも熱く長く盛り上がりました。浜松医科大学の関係者をお招きしたトーク企画「大学の統合問題」(4ページ記事参照)は、統合問題の所在をリアリティを持って考えさせられる内容でした。

トーク企画をはさみつつ、おでんに焼き鳥、お汁粉、おにぎりなどを食べ、ビールや日本酒などを嗜みながら、歓談の輪が広がっていきました。

今年度も多くの催し物が実施されました。共同センターの友田和一さんに準備いただいた「餅つき」は、すっかり“風物詩”になりました。日本人でありながら、臼と杵での餅つきの風習を失っている人が多い中、餅つきの醍醐味と、搗きたての餅のおいしさを再確認させていただきました。

技術部の太田諭之さんのヴァイオリン演奏、生源寺類先生のマジックショーは相変わらず見事なものでした。今年度特筆すべきは事務局の吉村さんによるマジックショーだったでしょう。余技を超えた出来映えに驚嘆させられました。また、国際連携推進機構の新江先生のご息女によるピアノ演奏にもほのぼのとさせられました。



会の最後は、技術部の増田さんの指揮で実施された恒例のピンゴ大会で、参加者にはもれなく景品があたり、おおいに盛り上がりました。

“冬の恒例行事”として「平和と文化の集い」を持っているのは、浜松キャンパスの大きな強みでしょう。来年度以降も、組合員、組合未加入の教職員、退職者、それらのご家族などに幅広く参加を呼びかけていき、連帯の輪を広げていきたいものです。

赤尾晃一（情報学部支部長）



恒例の「お餅つき」



トーク企画



かわいい「ピアノ演奏」

「平和と文化の集い」トーク企画を担当して

昨年10月23日の「平和と文化の集い」実行委員会において、今年のトーク企画について議論していた時、すぐに「浜医大との統合問題」が頭に浮かんだので提案したところ、すんなりと同意が得られ、自動的に企画担当者となった。よりタイムリーなものとするために、浜医からも教職員に来ていただき、パネルディスカッション形式を企画した。

まず人探し、技術職員の交流をつてに接触してもらったが、「微妙な問題なので」とあっさり断られてしまった。この時は、「浜医大側も悩んでいるのかな？」と同情を覚えた。次に、以前特任教員でおられた方が、浜医大にも在籍していたことを思い出し、だめもとでお願いしたら、すんなりと教員（土屋先生）と技術職員（佐々木様）を紹介してくださった。しかも、お二人とも「喜んで参加したい」とのお返事。静大側としては、中執事務局長で、統合問題のWGのメンバーでもある石原先生からすでに快諾を得ていた。これで陣容は決まった。さらに驚いたことは、浜医大側の土屋先生は、過半数代表者の一人だということ。さあ、これで盛り上がるぞ。

12月21日当日、ここで大きな問題が露呈した。浜医大から静大までの移動時間を全く考えていなかったのである。その結果として、トーク企画の開始が大変遅くなり、かつ十分な時間が取れず、全体の進行にも影響を与え、参加者の皆様に大変な迷惑を掛けてしまった。今後の反省点である。

トーク企画そのものは、浜医大側の本音が聞けたと自画自賛している。その本音とは、「浜医大では、統合問題についての教職員に対する説明はなく、大学執行部だけで進められており、これも組合が無いことの不利益の一つと思われる」という点である。「もし統合したら、是非組合を作りたい」とも。最初に接触した技術職員の方のお返事は、「単なる断る理由」だったのかな？

残念だったのは、思ったほど静大の教職員が参加してくれなかったこと。浜松キャンパスの教職員（特に教員）にとっては、浜医大との統合は、どんな形であれ、将来像として既に織り込み済みなのかも知れない。兎にも角にも、トーク企画を無事終了した。

村上健司（執行委員・工学部支部）

退職・転出される組合員の皆様、事務局までご一報ください。

労金、教職員共済などの手続きもお忘れなく！

4月に部局等を異動された場合は、必ず事務局までご一報ください。

